

患者名	(カルテID:)	輸血担当:
-----	-----------	-------

(個人情報保護のため、JSVTM提出時は破線で切り離すこと)

日付 年 月 日 病院名:

レシピエント情報

動物種および品種		年齢	
性別	雄・雌・去勢雄・避妊雌	体重	kg
輸血理由/疾患名			
血液型	犬: DEA1.1 (+)・DEA1.1 (-)	猫: A型・B型・AB型	
輸血回数	初回・回目		
輸血の種類	全血・濃厚赤血球・FFP・その他 ()		
作成日	年 月 日	予定投与量	ml

ドナー情報

動物種および品種		年齢	
性別	雄・雌・去勢雄・避妊雌	体重	kg
血液型	犬: DEA1.1 (+)・DEA1.1 (-)	猫: A型・B型・AB型	

クロスマッチ試験

vs ドナー①	室温	37°C
主試験		
副試験		

vs ドナー②	室温	37°C
主試験		
副試験		

vs ドナー③	室温	37°C
主試験		
副試験		

判定結果の結果、ドナー _____ から採血

(○: 溶血/凝集なし, ×: 溶血/凝集あり, △: 判定不可)

輸血前投与薬

薬剤名	投与量	投与経路

H1/H2阻害薬を輸血開始30分以上前に投与

例) ファモチジン 1 mg/kg SC

例) ジフェンヒドラミン 2 mg/kg SC

輸血の注意事項

- 輸血専用のフィルター付きラインを使用する。
- 輸血前にはラインに生理食塩水を満たす。
- フィルターの半分以上に血液を満たす。
- 輸血中は基本的に投薬、給餌は行わない。
- 輸血後はラインに残った血液製剤を生理食塩でフラッシュする (Ca含有液は不可)。

輸血速度

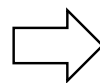
- 開始流量：0.5-1.0 ml/kg/hr
- 30分後のモニタリングで問題がなければ、流速を上げる。
- 可能な限り6時間以内に輸血が終了するように調整する。

モニタリング

	時刻	体温	心拍数	呼吸数	ml/hr	イベント
0分 (輸血前)	:					
15分	:					
30分	:					
45分	:					
60分	:					
90分	:					
120分	:					
150分	:					
180分	:					
210分	:					
240分	:					
270分	:					
300分	:					
330分	:					
360分	:					

イベントの記載例

- 嘔吐
- 震え
- 虚脱、低血圧
- 輸血開始前と比較して1℃以上の発熱
- 落ち着きがない
- 呼吸状態の悪化
- 赤色尿



これらの所見が認められた場合には、輸血を中断し適切な処置を講ずる

輸血終了後のチェック

① 輸血終了直後

- 最終投与量 _____ml
- PCVの変化 _____% → _____%
- 溶血の有無 (強い溶血あり ・ 弱い溶血あり ・ 溶血なし ・ 黄疸あり)

② 輸血終了24時間後

- PCV _____%
- 溶血の有無 (強い溶血あり ・ 弱い溶血あり ・ 溶血なし ・ 黄疸あり)

特記事項	
------	--